

2022年3月期 第2四半期 決算説明会



株式会社エスライン

【東証1部・名証1部 9078】

2021年11月22日(月)

2022年3月期 第2四半期 決算概要

業績

営業収益 **2期ぶりの増収**

営業利益・経常利益 とともに **3期ぶりの増益**

物流拠点の整備

4月 エスライングループ小牧物流センター（新築）

8月 エスラインギフ川口支店・南埼玉センター（リニューアル）

8月 エスラインミノ新倉庫（新築）

新型コロナウイルス対策

中部地区において、ワクチン職域接種を実施（9月）



エスライングループ小牧物流センター



エスラインギフ川口支店



職域接種の様子

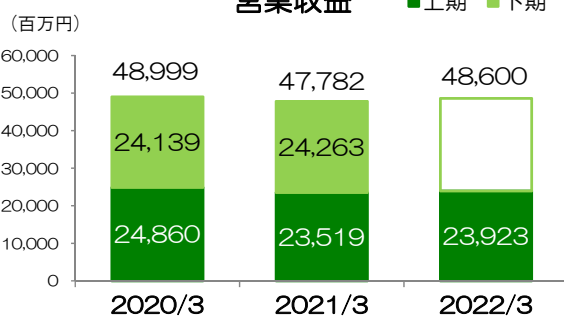
連結決算概要

(百万円)

	2020年3月期		2021年3月期		2022年3月期				
	第2 四半期	通期	第2 四半期	通期	第2四半期				通期
					予想	実績	前期比	予想比	
営業収益	24,860	48,999	23,519	47,782	25,000	23,923	1.7%	▲4.3%	48,600
営業総利益	1,416	2,700	1,307	3,145	1,575	1,445	10.6%	▲8.3%	3,300
(営業総利益率)	(5.7%)	(5.5%)	(5.6%)	(6.6%)	(6.3%)	(6.0%)	—	—	(6.8%)
販売費及び一般管理費	855	1,726	809	1,641	820	879	8.7%	7.2%	1,750
営業利益	561	974	497	1,503	755	565	13.7%	▲25.1%	1,550
(営業利益率)	(2.3%)	(2.0%)	(2.1%)	(3.1%)	(3.0%)	(2.4%)	—	—	(3.2%)
経常利益	605	1,058	570	1,629	800	637	11.8%	▲20.3%	1,660
(経常利益率)	(2.4%)	(2.2%)	(2.4%)	(3.4%)	(3.2%)	(2.7%)	—	—	(3.4%)
親会社株主に 帰属する純利益	311	3,118	384	971	525	436	13.5%	▲16.8%	1,050

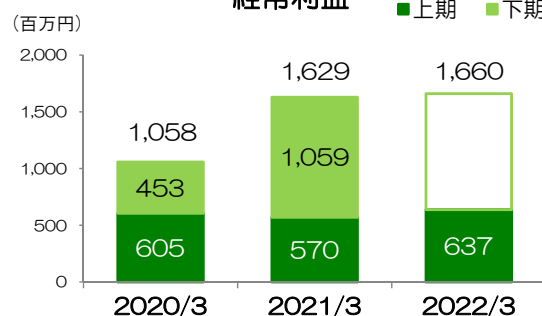
営業収益

■上期 ■下期

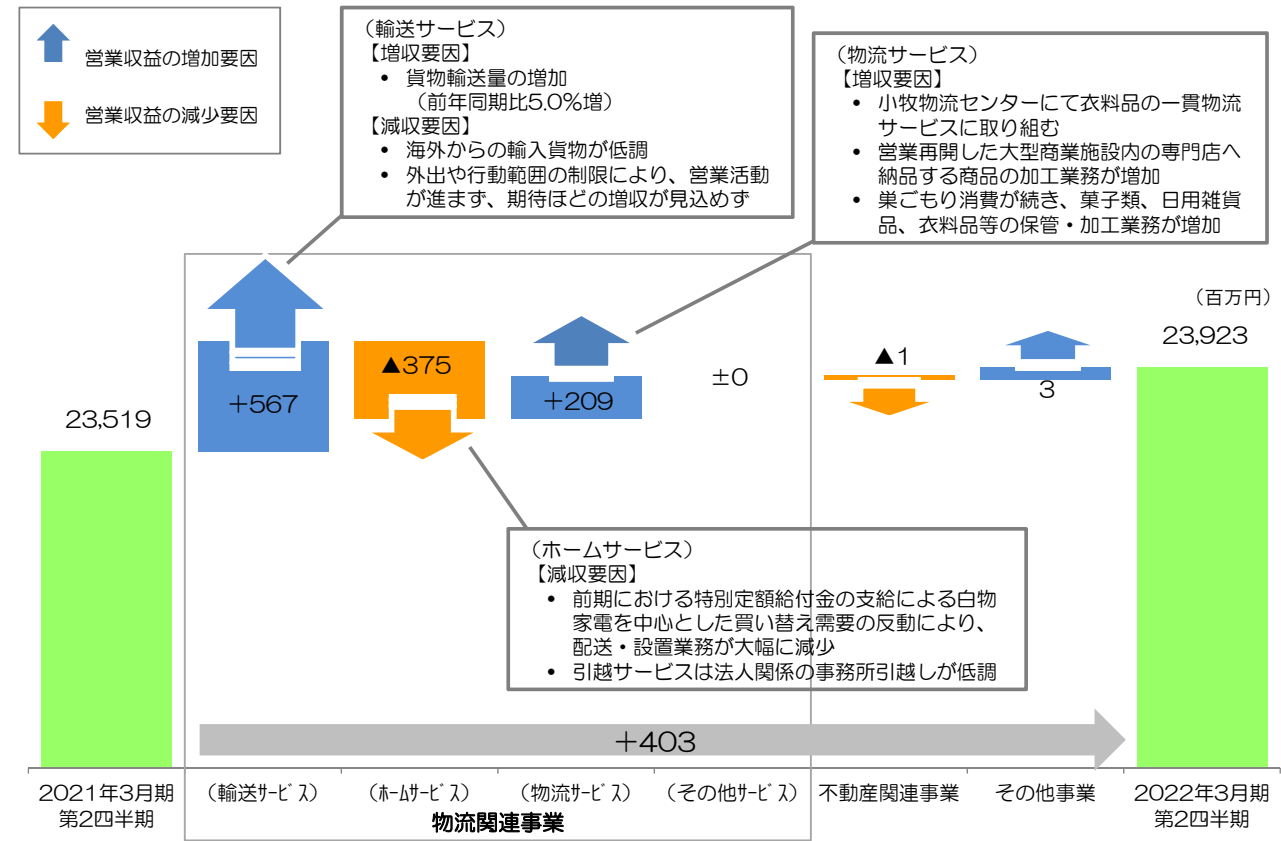


経常利益

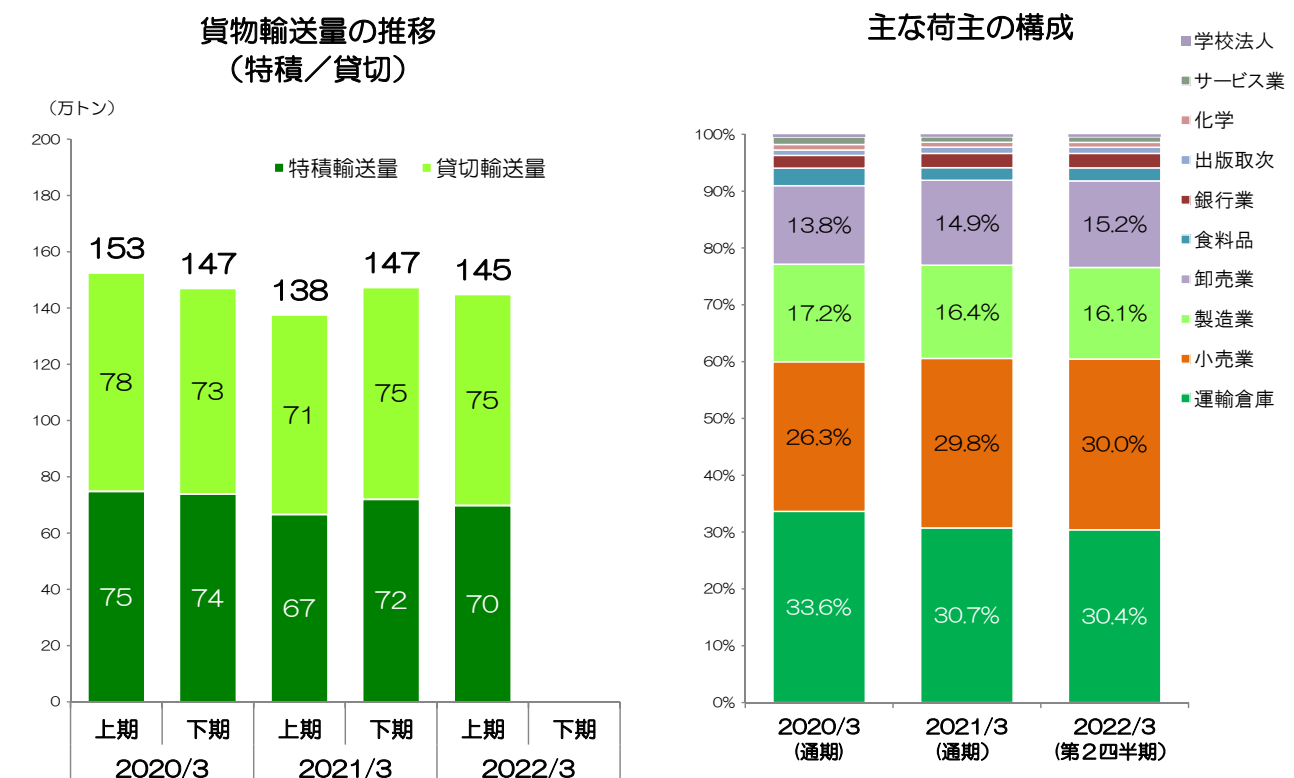
■上期 ■下期



営業収益の増減要因（連結）

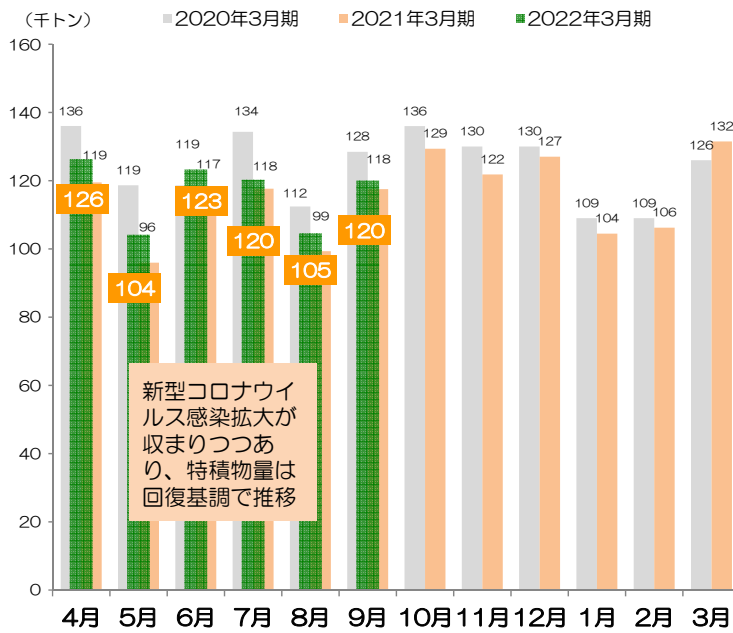


貨物輸送量と荷主の状況

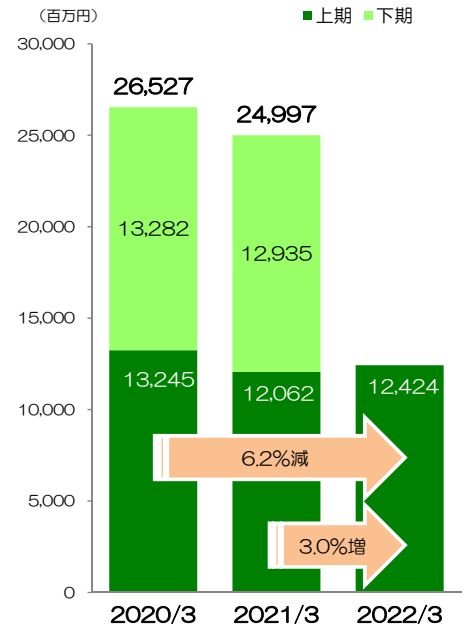


特積の状況（1）

月別特積貨物輸送量



特積収入

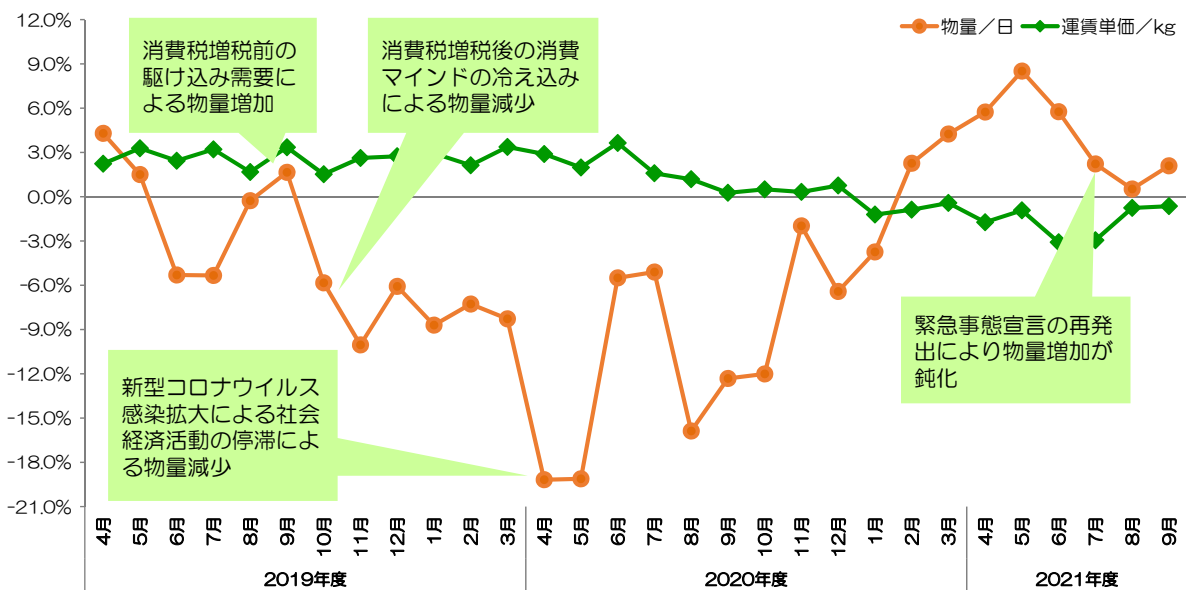


	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	営業日数
2020/3	23	23	25	26	20	23	25	24	23	22	23	25	
2021/3	25	22	26	24	21	24	27	23	24	22	22	26	
2022/3	25	22	26	24	22	24	26	24	24	22	21	26	

2021年3月期上期：142日 2022年3月期上期：143日（前期比+1日）

特積の状況（2）

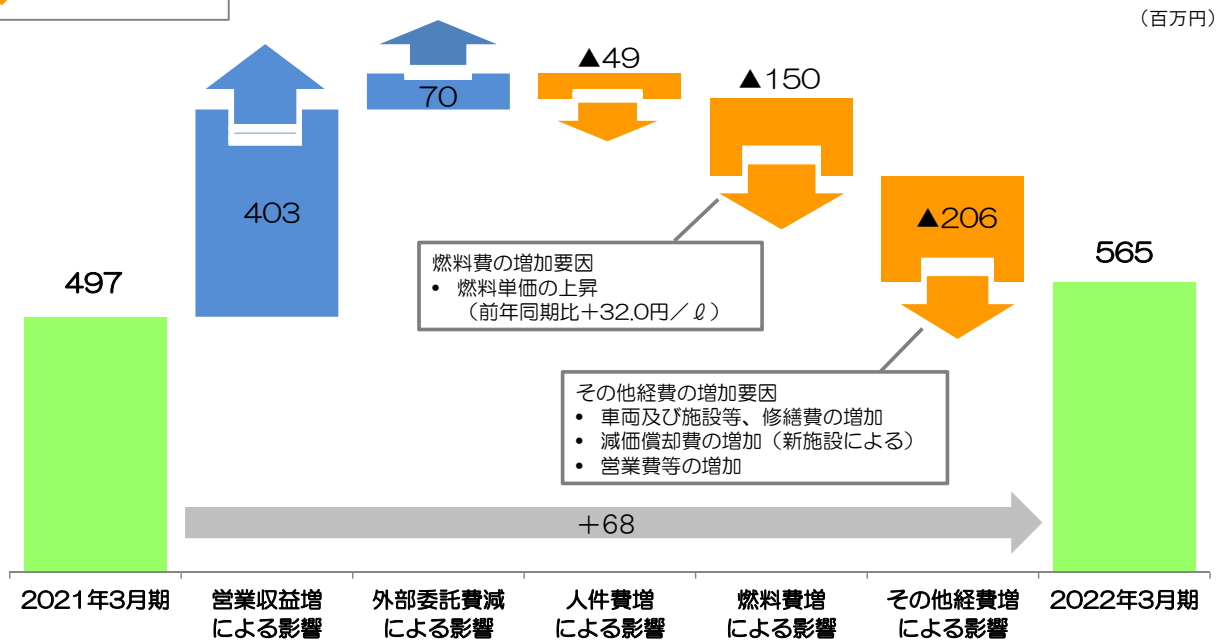
月別特積物量・運賃単価前年比増減率



前年比増減率	2019年度	2020年度	2021年度上期
物量/日	▲4.3%	▲8.1%	4.1%
運賃単価/kg	2.6%	0.9%	▲1.7%

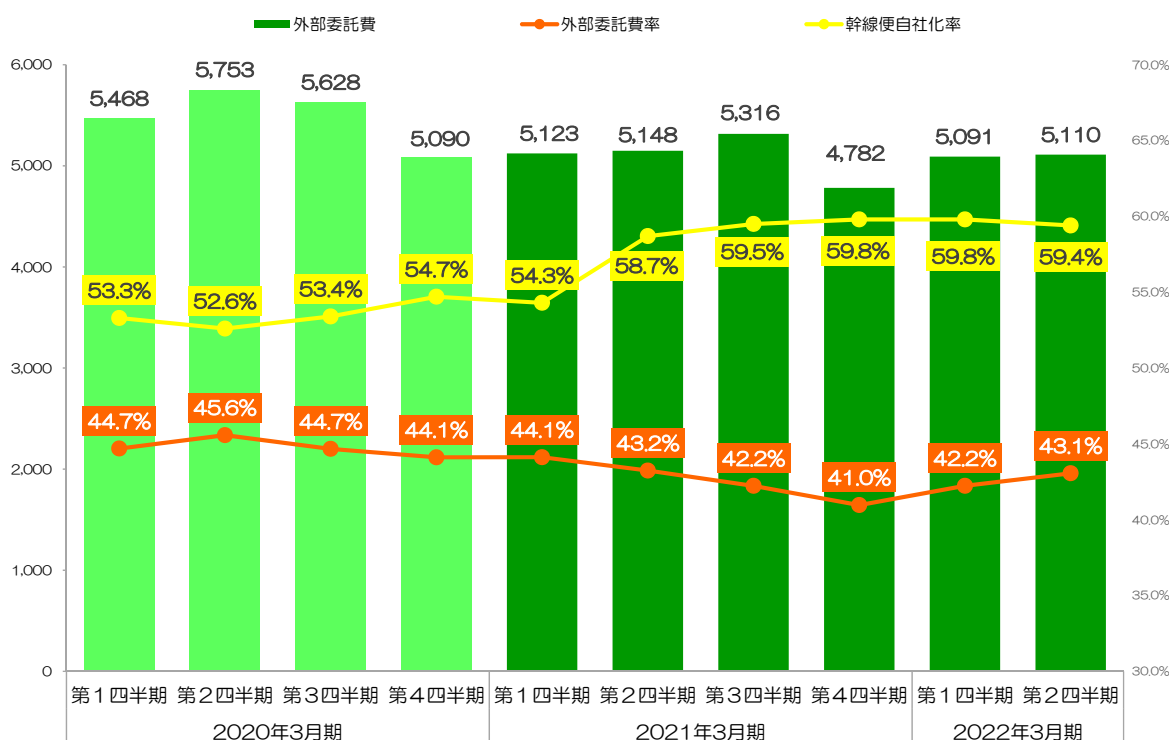
営業利益の増減要因（連結）

↑ 営業利益の増加要因
↓ 営業利益の減少要因



自社化の取り組み

外部委託費、外部委託費率、幹線便自社化率
(2020年3月期～2022年3月期第2四半期)

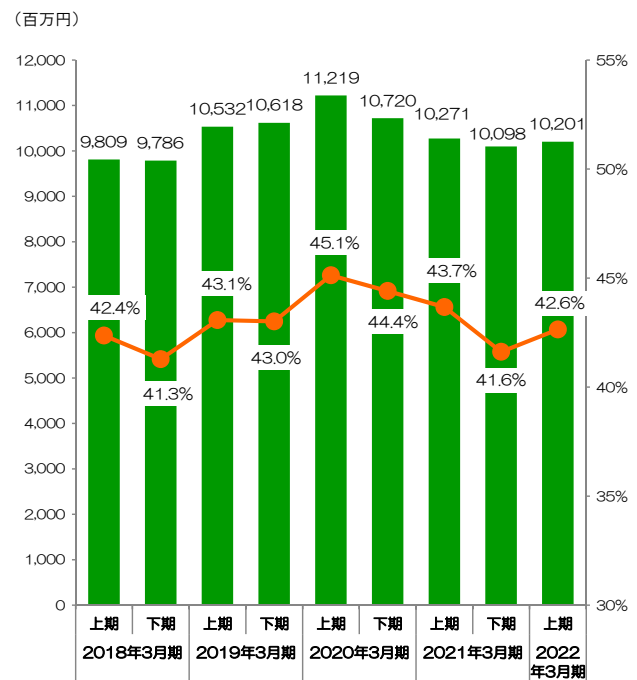


営業費用（人件費／外部委託費）の推移

■ 労務費・人件費 ● 売上高人件費率



■ 外部委託費 ● 売上高外部委託費率



セグメントの状況：営業収益

(百万円)

	2020年3月期		2021年3月期		2022年3月期				
	第2 四半期	通期	第2 四半期	通期	第2四半期			通期	
					予想	実績	(前期比)		(予想比)
営業収益	24,860	48,999	23,519	47,782	25,000	23,923	1.7%	▲4.3%	48,600
物流関連事業	24,433	48,178	23,138	47,024	24,610	23,538	1.7%	▲4.4%	47,830
輸送サービス	18,482	37,667	17,329	36,172	18,488	17,896	3.3%	▲3.2%	37,000
ホームサービス	3,098	5,097	3,105	5,340	3,160	2,730	▲12.1%	▲13.6%	5,300
物流サービス	2,765	5,242	2,619	5,345	2,876	2,828	8.0%	▲1.7%	5,360
その他サービス	88	173	84	168	86	84	0.0%	▲2.3%	170
不動産関連事業	251	486	225	449	225	224	▲0.4%	▲0.4%	450
その他事業	175	334	156	308	165	161	3.2%	▲2.4%	320

セグメントの状況：営業利益

(百万円)

	2020年3月期		2021年3月期		2022年3月期				
	第2 四半期	通期	第2 四半期	通期	第2四半期				通期 予想
					予想	実績	(前期比)	(予想比)	
営業利益	561	974	497	1,503	755	565	13.7%	▲25.1%	1,550
セグメント利益	877	1,632	789	2,101	1,050	874	10.8%	▲16.8%	2,170
物流関連事業	708	1,332	627	1,790	890	715	14.0%	▲19.7%	1,850
輸送サービス	307	734	224	1,050	462	394	75.9%	▲14.7%	1,110
ホームサービス	263	297	267	363	270	178	▲33.3%	▲34.1%	350
物流サービス	131	272	129	363	150	135	4.7%	▲10.0%	375
その他サービス	8	29	7	13	8	8	14.3%	0.0%	15
不動産関連事業	129	233	115	234	118	120	4.3%	1.7%	240
その他事業	39	66	46	76	42	39	▲15.2%	▲7.1%	80
調整額（本経費）	▲316	▲658	▲291	▲597	▲295	▲309	▲6.2%	▲4.7%	▲620

連結貸借対照表の概要

(百万円)

	2020年3月期		2021年3月期		2022年3月期	
	第2四半期	期末	第2四半期	期末	第2四半期	期末増減
流動資産	10,707	13,674	11,556	10,580	9,099	▲1,481
固定資産	25,466	26,922	28,511	30,227	30,038	▲189
資産の部合計	36,173	40,597	40,068	40,808	39,137	▲1,671
流動負債	8,282	8,937	8,910	9,559	7,503	▲2,056
固定負債	6,881	7,838	6,921	6,327	6,496	169
負債の部合計	15,163	16,776	15,832	15,886	14,000	▲1,886
株主資本	20,799	23,519	23,794	24,292	24,522	230
非支配持分	0	0	0	0	0	0
純資産の部合計	21,010	23,821	24,236	24,922	25,137	215
負債及び純資産合計	36,173	40,597	40,068	40,808	39,137	▲1,671
自己資本比率	58.1%	58.7%	60.5%	61.1%	64.2%	—

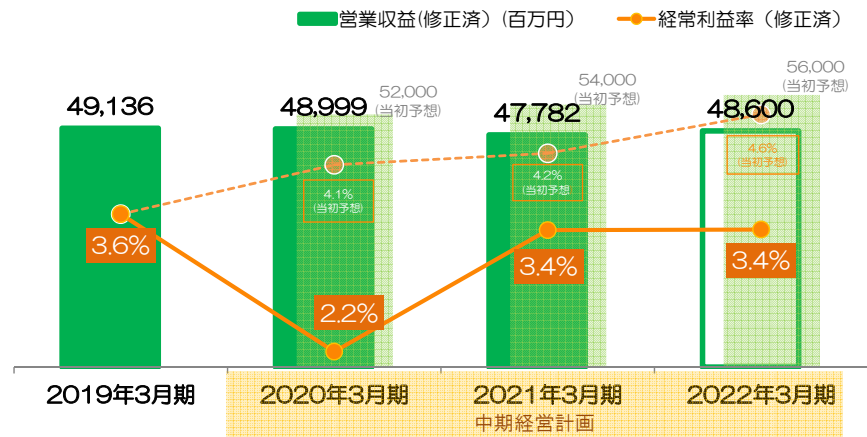
(百万円)

	2020年3月期		2021年3月期		2022年3月期	
	第2四半期	期末	第2四半期	期末	第2四半期	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,144	2,283	1,182	2,722	1,307	125
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲1,125	791	▲1,955	▲4,161	▲1,557	398
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲582	▲541	▲859	▲1,590	▲611	248
現金及び現金同等物の増減	▲563	2,532	▲1,631	▲3,030	▲861	—
現金及び現金同等物の期首残高	4,432	4,432	6,965	6,965	3,934	▲3,031
現金及び現金同等物の期末残高	3,868	6,965	5,333	3,934	3,073	▲2,260
設備投資費	1,296	3,761	2,172	4,606	722	▲1,450
減価償却費	881	1,768	890	1,810	951	61

中期経営計画の進捗状況
及び
2022年3月期の業績予想

新中期経営計画のテーマ
(2020年3月期～2022年3月期)

『エスラインブランド』
の価値向上
“Think next Value”



(百万円)	2019年3月期 (実績)	2020年3月期 (実績)	2021年3月期 (実績)	2022年3月期 (予想)
営業収益	49,136	48,999	47,782	48,600
物流関連事業				
貨物自動車 輸送サービス	38,505	37,667	36,172	37,000
運送事業 ホームサービス	4,911	5,097	5,340	5,300
倉庫業 物流サービス	4,724	5,242	5,345	5,360
その他サービス	181	173	168	170
不動産関連事業	466	486	449	450
その他事業	348	334	308	320
経常利益	1,756	1,058	1,629	1,660
減価償却費	1,671	1,768	1,810	1,970
設備投資費	3,790	3,761	4,606	1,587

2022年3月期下期の重点項目

輸送サービスの充実

特積以外での収益拡大

貸切・専門輸送・国際物流・引越サービスの専門部署として、特積以外の各分野における収益拡大を図る。

コンテナセンターの拡大

中部地区に開設した「コンテナセンター」において、輸入貨物の一貫物流サービスの内容充実と質を高める。

港湾地区での業務拡大

大阪・神戸の阪神港湾地区における保管・貸切輸送を中心とした複合輸送等、業務の拡大を図る。

物流サービスの拡大

新施設の稼働率向上

昨年開設したスリーエス物流の第3物流センターや当期開設したエスライングループ小牧物流センターの稼働を高め、お客様に喜ばれる「総合物流センター」として、収益拡大に取り組む。

働き方改革

ITによる効率化の推進

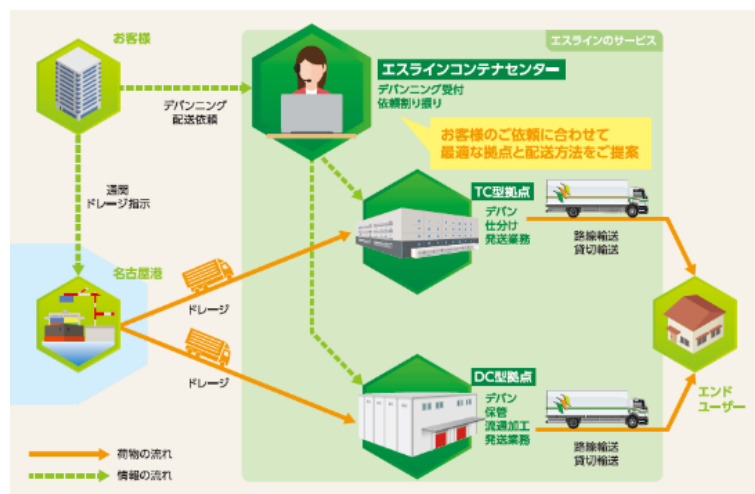
通信型デジタルタコグラフやAI配車システムなどのIT機器から得られた情報の分析や活用、自動ソーター等のマテハン機器を積極的に導入し、配送業務や倉庫内作業の効率化、生産性向上を目指す。

人材育成の強化

支店長を中心とした管理職員を対象に強化プログラム教育を実施する。学卒入社を対象に運転免許取得支援制度の拡充を図る。

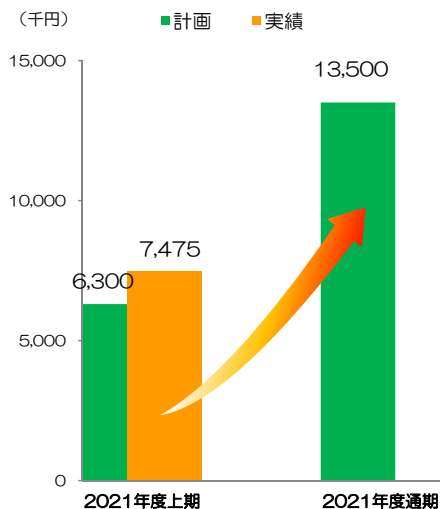
「輸入からお届けまで」の煩雑な手続きの窓口を一本化

名古屋港から納品先までの輸送を一括してお受けいたします。
 エスライングループの輸送ネットワークで、条件に合わせて、
 デバンニング・保管・アソート・加工・一括納品・分割納品ま
 で、全て引き受けます。



※デバンニング・・・コンテナから貨物を取り出す作業

コンテナセンターの 計画と実績



新たな輸送・物流サービスの展開

■エスラインギフ川口支店 (2021年8月オープン)

- 所在地：埼玉県川口市
- 建物：鉄骨造2階建
- 敷地面積：7,480㎡ (2,262坪)

1973年に開設以来、48年にわたりご愛顧いただいておりますが、北関東エリアの配送拠点の強化と配送網の充実を図るために、改築を行い、8月に全面リニューアルオープンしました。荷捌場を従来の1.5倍とし、営業力の強化を図り、取扱い貨物量の増加、収入拡大に取り組んでまいります。併設の家電配送拠点、南埼玉センターも事務所・倉庫が新たに、これまで以上に良いサービスがご提供できる施設となりました。



エスラインギフ川口支店

■エスラインミノ新倉庫 (2021年8月オープン)

- 所在地：岐阜県羽島郡岐南町
- 延床面積：A棟：1,578㎡ (477坪)
B棟：1,294㎡ (391坪)

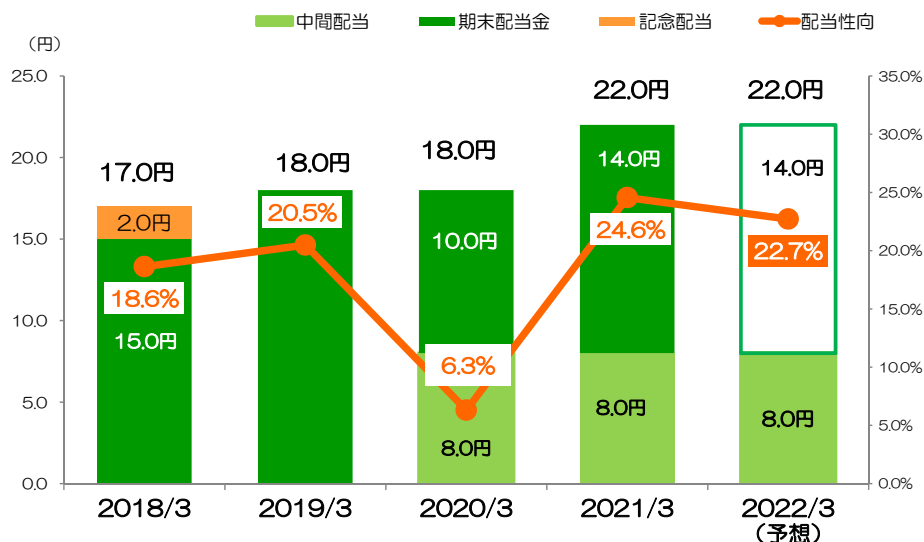
エスライングループの主要顧客であります外壁材・屋根材メーカーの保管・加工・配送業務を行うための施設です。お客様の販路拡大とともに、旧施設が狭隘となったために、約2倍の倉庫施設を新築しました。



エスラインミノ新倉庫

利益配当

安定的な配当の継続と業績に応じた適切な利益配分を行うよう努めると同時に、事業の効率化及びグループの成長に向けた内部留保の充実等を総合的に勘案して決定することを基本方針としております。



株主優待

決算期末の3月31日現在に単元（100株）以上保有されている株主様を対象に株主優待としてクオカードを進呈しております。

株数	保有年数	クオカード
100株以上	3年未満	1,000円分
	3年以上	2,000円分



エスラインの長期ビジョン

エスライングループがさらに発展するために、グループとして
どのような事業像を目指し、どういったグループ経営の体制をとるべきか？

外部
環境

国内全体の人口減少と
更なる事業環境の変化

- ・小口貨物（＝特積み）を中心とした
事業構成を継続することが可能か？

内部
環境

事業環境変化に対応する
経営体制の見直し

- ・有機的なグループ会社間の連携
- ・個社の強みをグループの強みとする
取り組み

主要
課題

- ✓ グループ経営のあり方の見直し
 - ・「面での事業（地域内の配送）」を充実し、
「線での事業（幹線トラック輸送）」との連携を図る
 - ・物流サービス・ホームサービスの比率向上
 - ・流通に関連する新規ビジネスの開発
 - ・「デジタル化、IT化、自動化技術、省資源化」など、先端技術の活用
- ✓ エスライン（HD）の体制強化
- ✓ 人材育成のための人事・教育プラットフォームの整備
- ✓ M&Aの取組み姿勢の明確化

1. エスラインビジョン

『商品を送る安心と、受け取る嬉しさをつなぐ、ありがとう創造企業』

2. 目指す事業像

流通ソリューション企業
～物流から流通を目指す～

地域とお客様と
ともに**成長**
する

輸送ネットワーク
を活かし、
一貫物流
を提供する

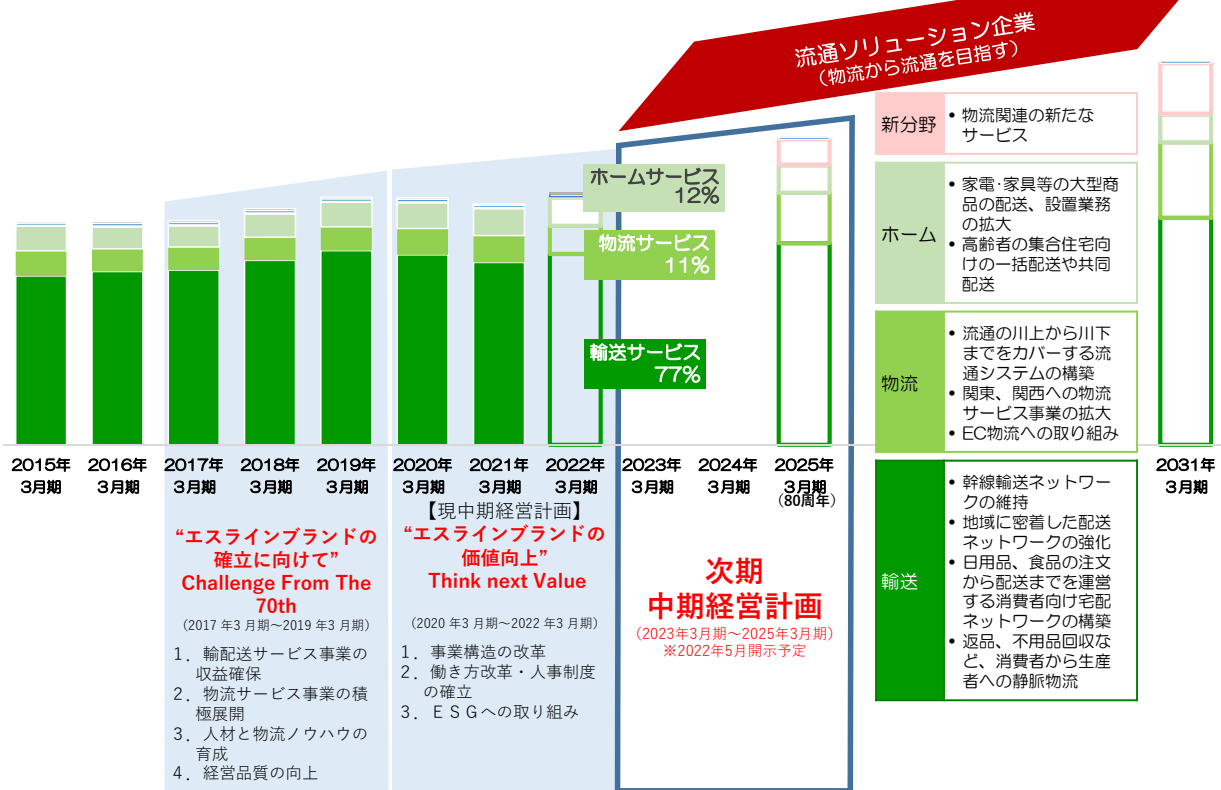
情報や
サービスも
付加し、お客様の
物流全体を
効率化・最適化
する

※1：「流通」とは、①物の流れ（物流）・②受発注等の情報の流れ・③決済等の資金の流れの3つを含む言葉。

※2：「ソリューション」とは、お客様の課題を発見・掘り起こし、その解決手段を提案すること。

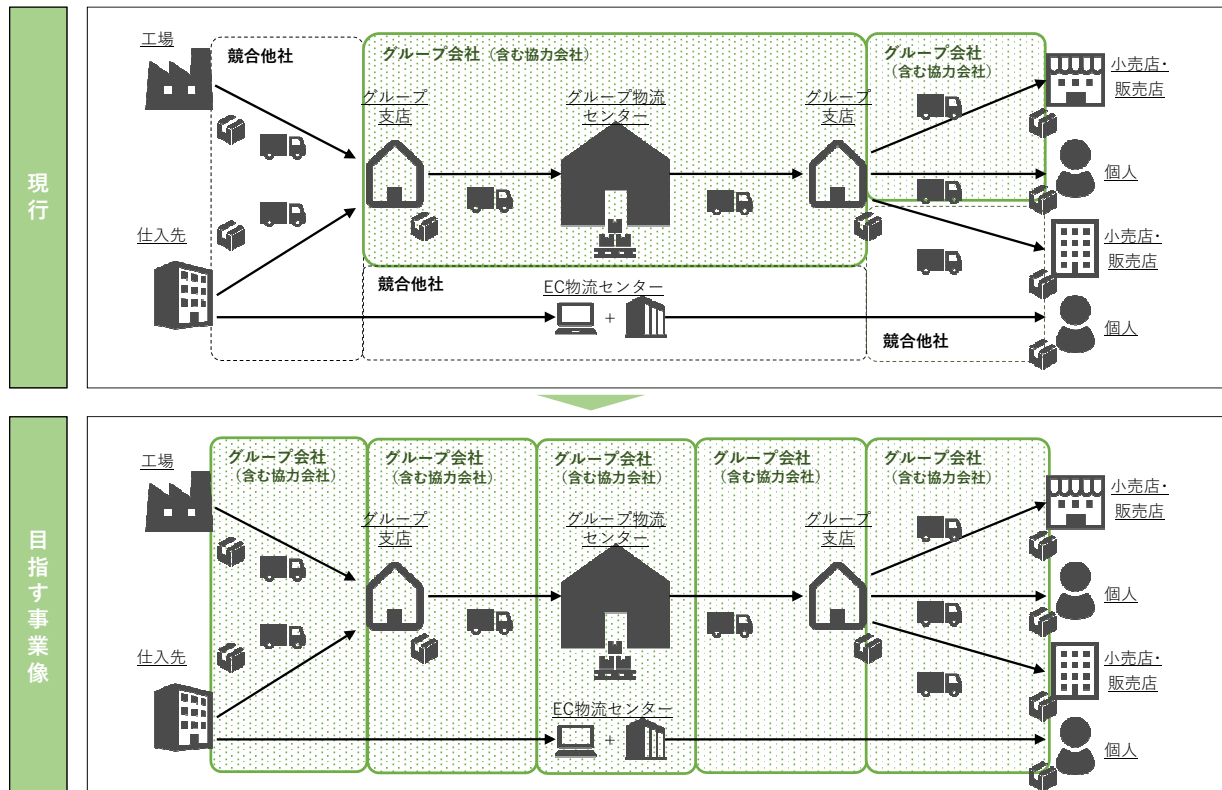
⇒目指す事業像の「流通ソリューション」とは、「流通」の定義にある①～③を組合せたサービスを提供して、
お客様の発展・成長に繋げること（小売販売や卸売等を指す言葉ではない）。

- 物流関連事業 輸送サービス
- 物流関連事業 物流サービス
- 物流関連事業 ホームサービス
- 物流関連事業 その他サービス
- 物流関連事業 新サービス
- 不動産関連事業
- その他事業



【参考】目指す事業像イメージ

○エスライングループ全体で流通の川上から川下の一貫物流を担い、お客様の物流全体の最適化・効率化に貢献する。

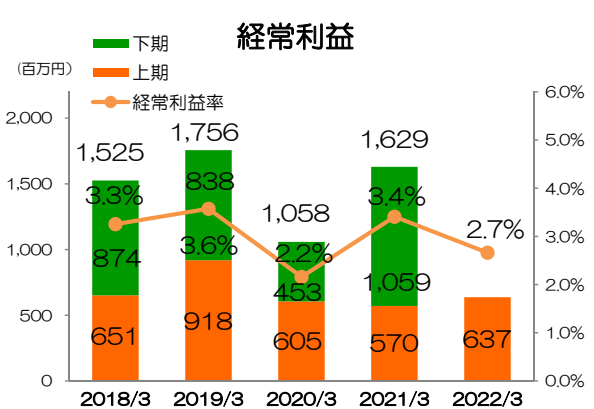
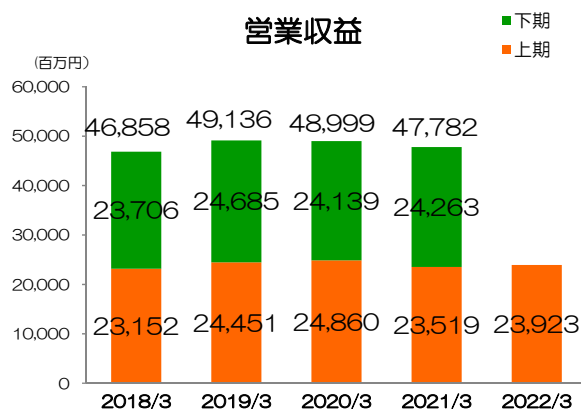


参考データ集

連結業績推移

(百万円)

	2018年3月期		2019年3月期		2020年3月期		2021年3月期		2022年3月期	
	第2Q	通期	第2Q	通期	第2Q	通期	第2Q	通期	第2Q	通期
営業収益	23,152	46,858	24,451	49,136	24,860	48,999	23,519	47,782	23,923	—
営業総利益	1,460	3,107	1,765	3,439	1,416	2,700	1,307	3,145	1,445	—
(営業総利益率)	(6.3%)	(6.6%)	(7.2%)	(7.0%)	(5.7%)	(5.5%)	(5.6%)	(6.6%)	(6.0%)	—
販管費	833	1,652	875	1,752	855	1,726	809	1,641	879	—
営業利益	627	1,455	890	1,687	561	974	497	1,503	565	—
(営業利益率)	(2.7%)	(3.1%)	(3.6%)	(3.4%)	(2.3%)	(2.0%)	(2.1%)	(3.1%)	(2.4%)	—
経常利益	651	1,525	918	1,756	605	1,058	570	1,629	637	—
(経常利益率)	(2.8%)	(3.3%)	(3.8%)	(3.6%)	(2.4%)	(2.2%)	(2.4%)	(3.4%)	(2.7%)	—
当期純利益	422	986	570	969	311	3,118	384	971	436	—

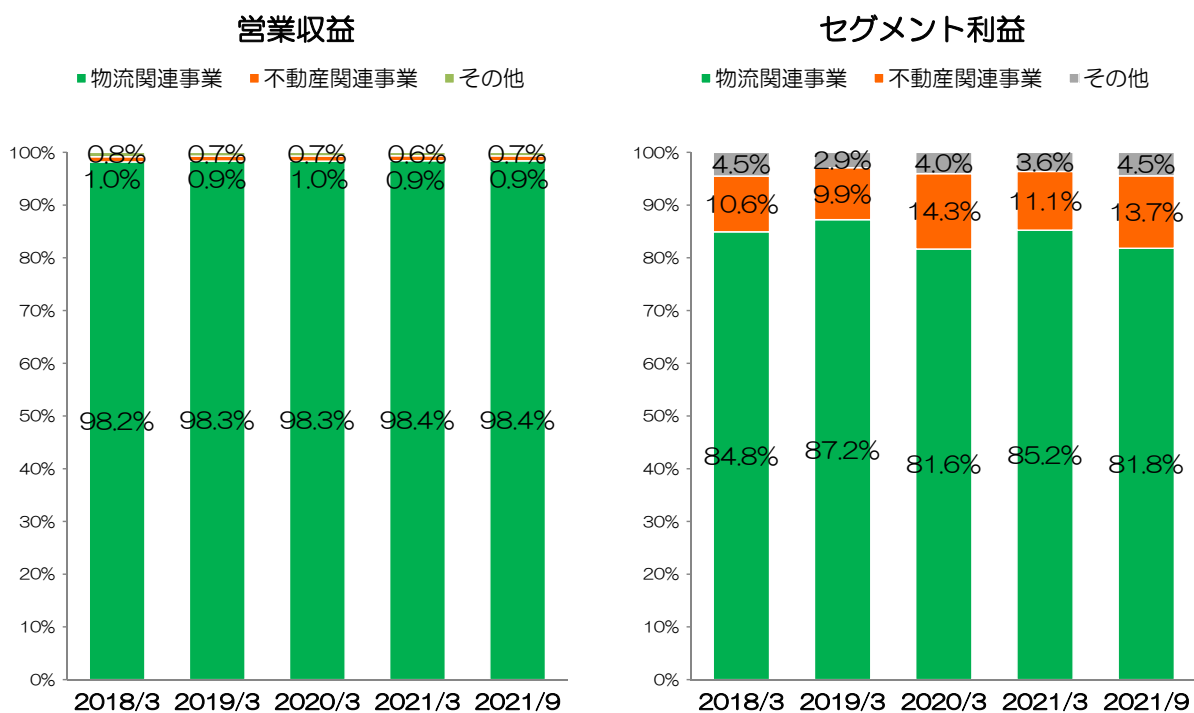


連結業績推移（セグメント別）

	2018年3月期		2019年3月期		2020年3月期		2021年3月期		2022年3月期	
	第2Q	通期	第2Q	通期	第2Q	通期	第2Q	通期	第2Q	通期
営業収益	23,152	46,858	24,451	49,136	24,860	48,999	23,519	47,782	23,923	—
物流関連事業	22,720	46,004	24,033	48,322	24,433	48,178	23,138	47,024	23,538	—
貨物自動車運送事業	17,610	36,585	18,501	38,505	18,482	37,667	17,329	36,172	17,896	—
輸送サービス	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
ホームサービス	2,451	4,557	2,853	4,911	3,098	5,097	3,105	5,340	2,730	—
倉庫業	2,564	4,584	2,587	4,724	2,765	5,242	2,619	5,345	2,828	—
物流サービス	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
その他サービス	96	276	92	181	88	173	84	168	84	—
不動産関連事業	229	459	232	466	251	486	225	449	224	—
その他事業	202	394	184	348	175	334	156	308	161	—

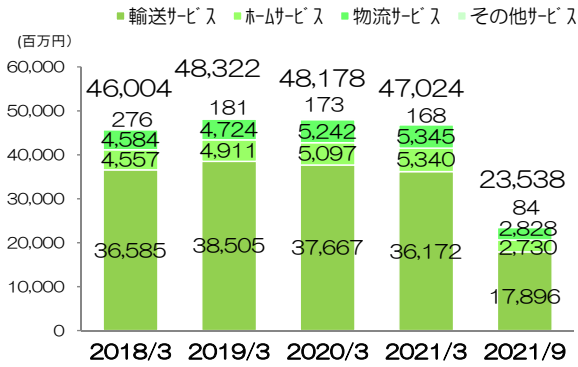
	2018年3月期		2019年3月期		2020年3月期		2021年3月期		2022年3月期	
	第2Q	通期	第2Q	通期	第2Q	通期	第2Q	通期	第2Q	通期
営業利益	627	1,455	890	1,687	561	974	497	1,503	565	—
セグメント利益	948	2,092	1,220	2,342	877	1,632	789	2,101	874	—
物流関連事業	782	1,775	1,066	2,042	708	1,332	627	1,790	715	—
貨物自動車運送事業	540	1,350	728	1,497	307	734	224	1,050	394	—
輸送サービス	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
ホームサービス	76	116	177	227	263	297	267	363	178	—
倉庫業	148	265	145	296	131	272	129	363	135	—
物流サービス	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
その他サービス	18	45	16	24	8	29	7	13	8	—
不動産関連事業	111	221	114	231	129	233	115	234	120	—
その他事業	54	94	40	68	39	66	46	76	39	—
調整額（本経費）	▲321	▲637	▲330	▲654	▲316	▲658	▲291	▲597	▲309	—

連結業績推移（セグメント別比率）

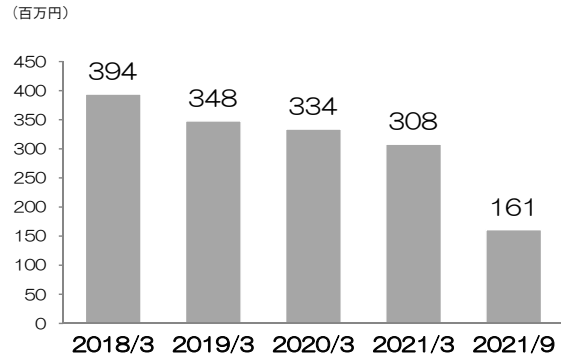


各セグメント状況（営業収益）

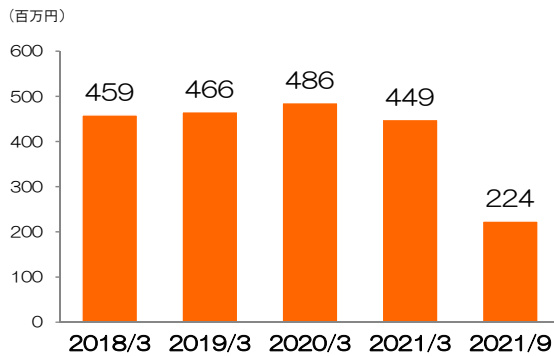
物流関連事業



その他事業

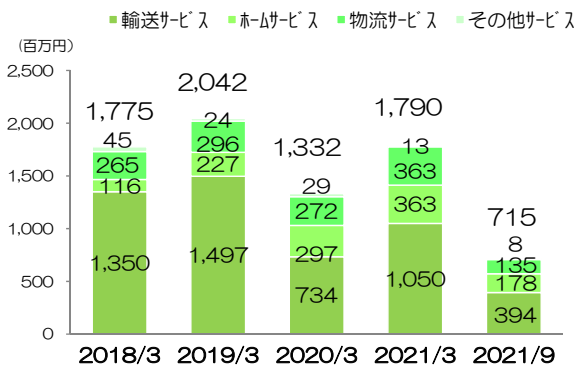


不動産関連事業

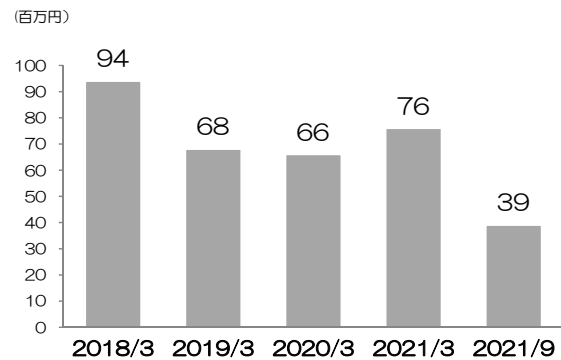


各セグメント状況（セグメント利益）

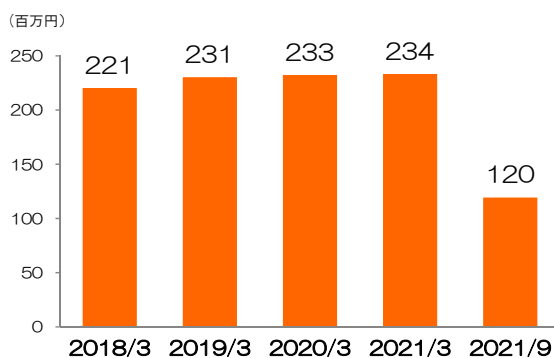
物流関連事業



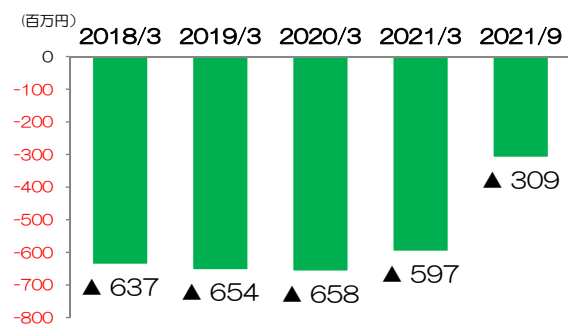
その他事業



不動産関連事業



調整額（本社経費）



連結財務推移

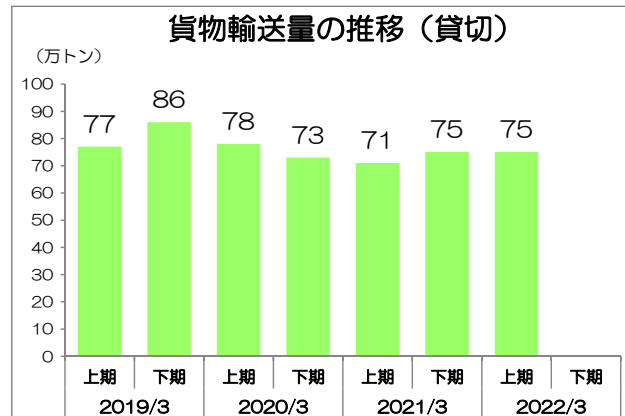
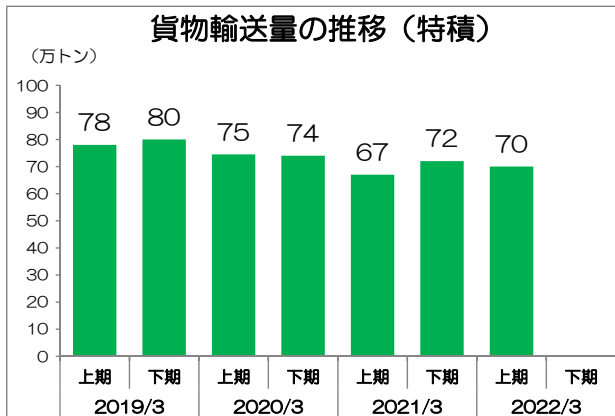
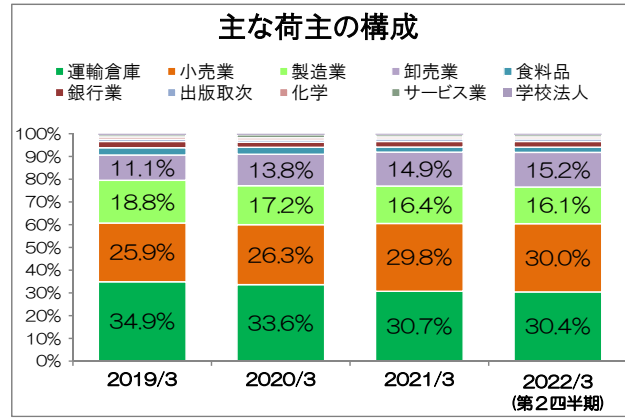
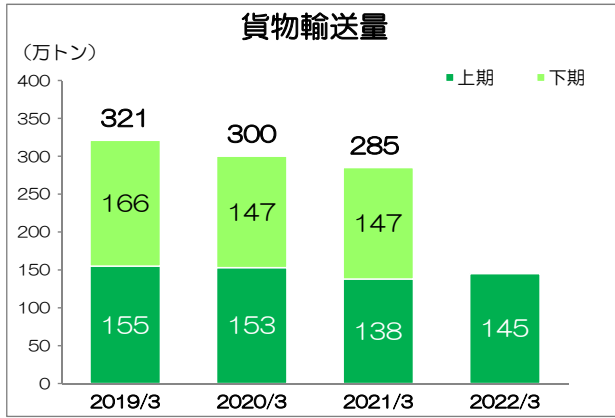
	2018年3月期		2019年3月期		2020年3月期		2021年3月期		2022年3月期	
	第2Q	通期	第2Q	通期	第2Q	通期	第2Q	通期	第2Q	通期
流動資産	10,524	11,261	13,008	11,464	10,707	13,674	11,556	10,580	9,099	—
固定資産	22,857	22,793	24,071	25,214	25,466	26,922	28,511	30,227	30,038	—
資産の部合計	33,382	34,054	37,080	36,678	36,173	40,597	40,068	40,808	39,137	—
流動負債	7,408	7,945	8,756	8,409	8,282	8,937	8,910	9,559	7,503	—
固定負債	6,480	6,003	7,682	7,160	6,881	7,838	6,921	6,327	6,496	—
負債の部合計	13,888	13,948	16,439	15,570	15,163	16,776	15,832	15,886	14,000	—
株主資本	19,508	20,072	20,455	20,853	20,799	23,519	23,794	24,292	24,522	—
非支配持分	0	0	0	0	0	0	0	0	0	—
純資産の部合計	19,493	20,105	20,641	21,108	21,010	23,821	24,236	24,922	25,137	—
負債及び純資産合計	33,382	34,054	37,080	36,678	36,173	40,597	40,068	40,808	39,137	—
自己資本比率	58.4%	59.0%	55.7%	57.5%	58.1%	58.7%	60.5%	61.1%	64.2%	—
従業員数		2,100		2,084		2,107		2,145		—

	2018年3月期		2019年3月期		2020年3月期		2021年3月期		2022年3月期	
	第2Q	通期	第2Q	通期	第2Q	通期	第2Q	通期	第2Q	通期(予)
1株当たり配当金	—	17.0	—	18.0	8.0	18.0	8.0	22.0	8.0	22.0
配当性向		18.6		20.5	28.4	6.3	22.5	24.6	19.9	22.7

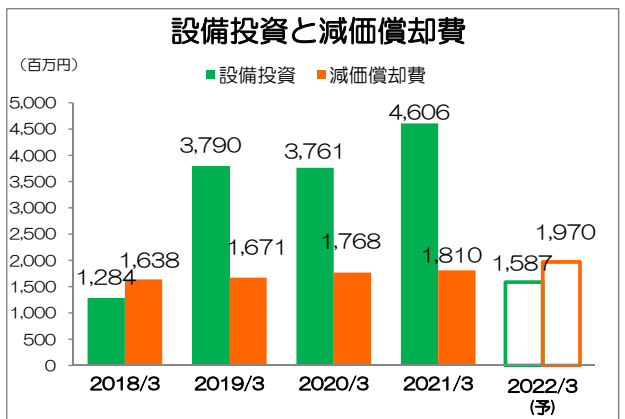
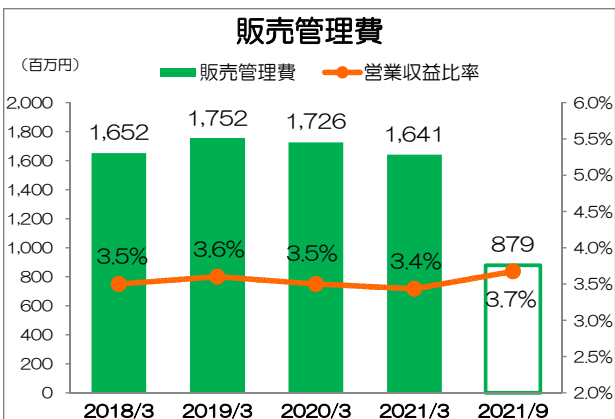
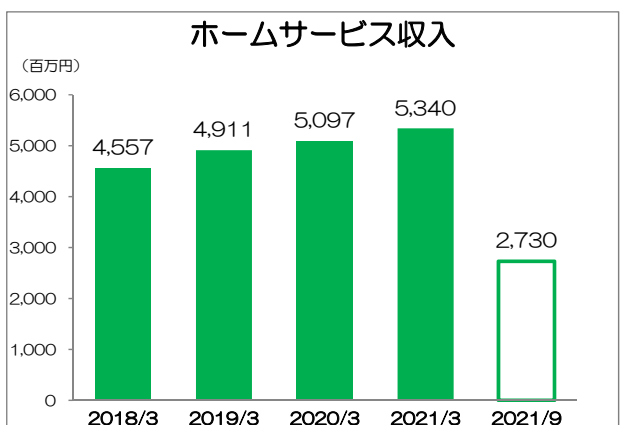
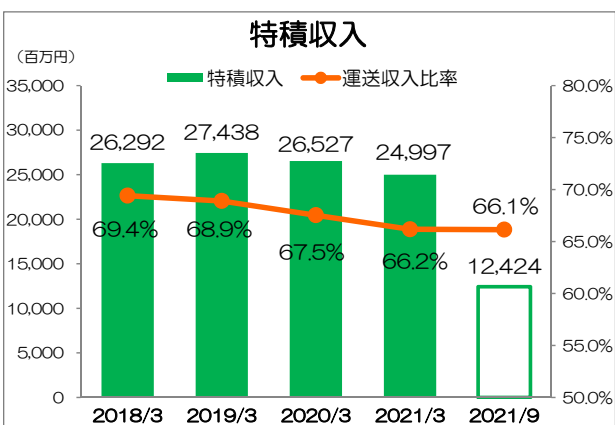
連結キャッシュ・フロー推移

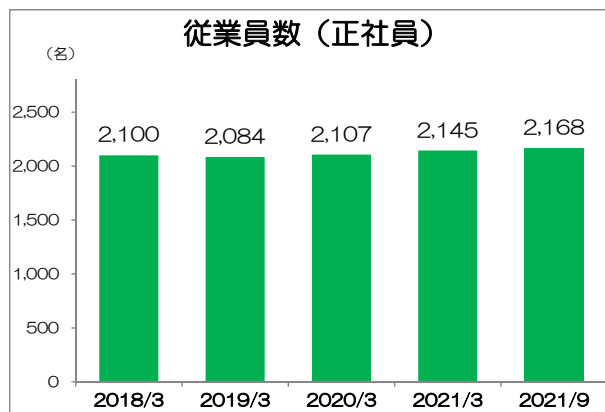
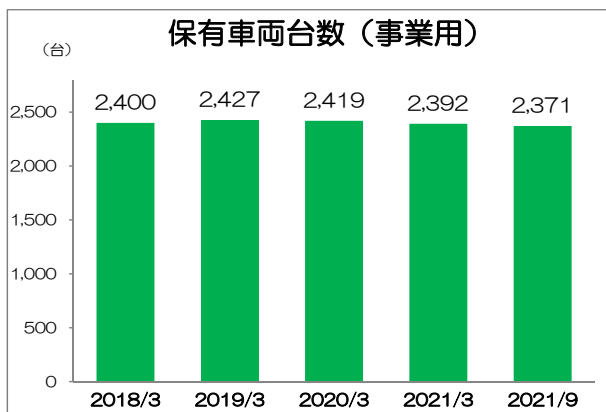
	2018年3月期		2019年3月期		2020年3月期		2021年3月期		2022年3月期	
	第2Q	通期	第2Q	通期	第2Q	通期	第2Q	通期	第2Q	通期
営業活動によるCF	1,269	2,773	1,286	2,600	1,144	2,283	1,182	2,722	1,307	—
投資活動によるCF	▲489	▲1,377	▲1,350	▲3,566	▲1,125	791	▲1,955	▲4,161	▲1,557	—
財務活動によるCF	▲86	▲350	2,197	1,388	▲582	▲541	▲859	▲1,590	▲611	—
現金同等物増減	693	1,046	2,133	422	▲563	2,532	▲1,631	▲3,030	▲861	—
現金同等物期首残高	2,963	2,963	4,009	4,009	4,432	4,432	6,965	6,965	3,934	—
現金同等物残高	3,656	4,009	6,142	4,432	3,868	6,965	5,333	3,934	3,073	—
設備投資費	324	1,284	1,751	3,790	1,296	3,761	2,172	4,606	722	—
減価償却費	824	1,638	814	1,671	881	1,768	890	1,810	951	—

その他参考データ①



その他参考データ②





SDGsへの取り組み（1）



社員の健康管理



きれいな水作り



クリーンなエネルギーの普及



情報技術による安全確保



不平等の是正



地域貢献



環境／気候変動対策

■電気小型トラックの導入



納車式の様子

- 2019年2月に中部地区で初めて5台導入
- 排出ガスを一切出さず、環境への負荷を大きく軽減
- 音や振動も少なくドライバーへの身体的負荷を軽減

■働きやすい職場づくり



小牧物流センター内に保育所の様子

- 労務管理の見直し
- 時間外労働の削減
- ドライバーの健康管理
- 免許取得支援制度の拡大
- 女性が働きやすい職場づくり
- 小牧物流センター内に保育所を設置

8 働きがいも
経済成長も



12 つくる責任
つかう責任



エスラインギフ飲料保管用自動倉庫

■「省人化」「安全」「効率化」を実現

エスラインギフ飲料保管用自動倉庫（岐阜県羽島郡岐南町）

- 「自動ラックシステム」を導入し、約10,000パレット分の飲料が収容可能
- 保管商品の入出庫に最新の自動化設備を利用することで、「迅速」「安全」な作業を実現
- 「自動ラックシステム」では高さの制限を受けずに空間活用でき、この倉庫では9段積みと通常の倍以上の高密度保管による「効率化」を実現



無人台車によるパレットの搬送

■「集荷レス」を実現する物流センターの構築

スリーエス物流第3物流センター（愛知県一宮市）

エスライングループ小牧物流センター（愛知県丹羽郡大口町）

- DCセンター機能を有し、入庫～保管～加工～出庫～配送と一貫物流サービスの提供により、都度の集荷作業が必要なくなり、お客様の負荷軽減、ドライバー不足への対応に効果
- 小牧物流センターには自動ソーターを導入
- いずれも「省人化」「効率化」を実現できるセンターとして業容拡大に取り組む



スリーエス物流第3物流センター



自動ソーター
(1時間に約10,000個の
仕分けが可能)

本日はご清聴ありがとうございました。



【お問い合わせ先】 株式会社エスライン 経営企画部
TEL:058-246-6749 FAX:058-240-4850
E-mail: keieikikaku@sline.co.jp

【免責事項】

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。
本資料における、将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。
また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。
また、業界等に関する記述につきましても、信頼できるとされる各種データに基づいて作成されていますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。
本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。